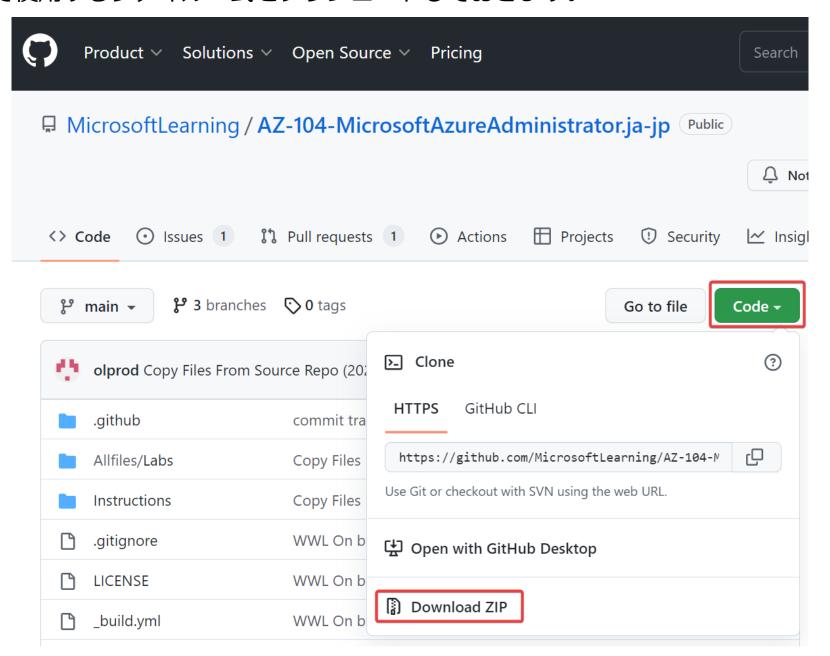
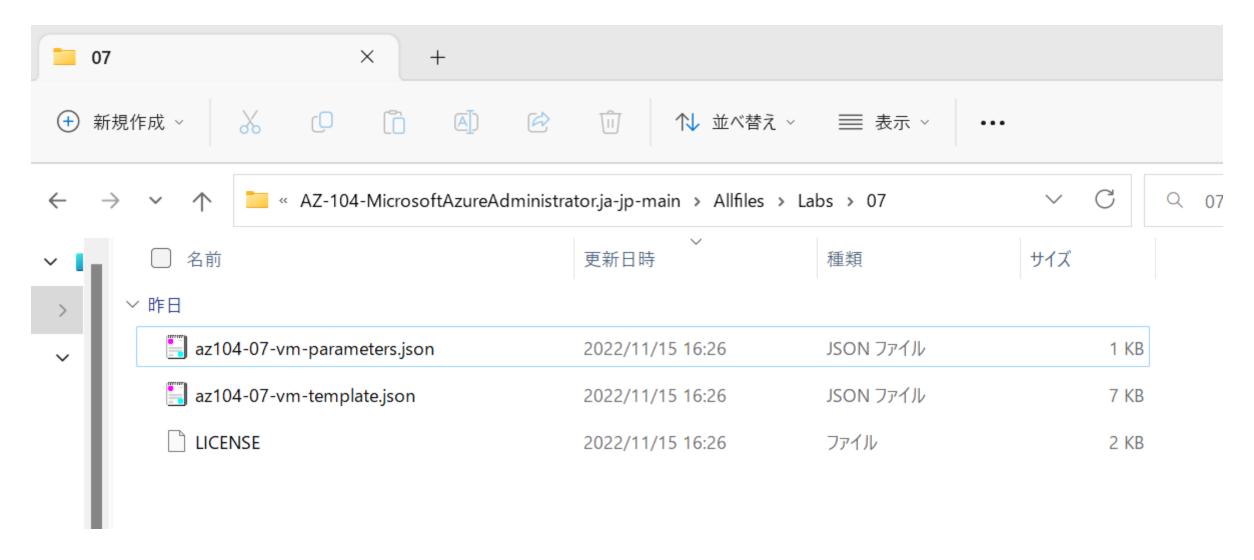
## AZ-104 ラボ7

冒頭の「タスク1」(VMのプロビジョニング)の解説

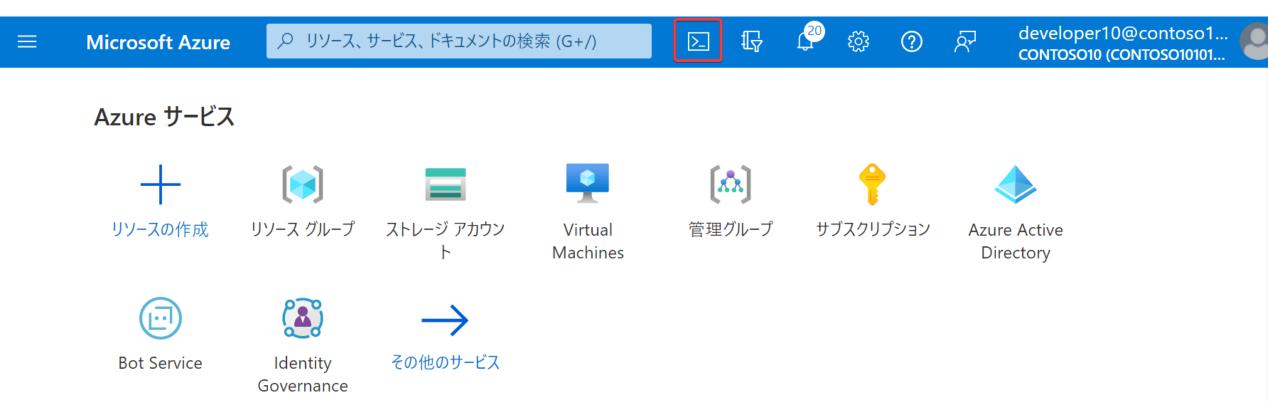
https://github.com/MicrosoftLearning/AZ-104-MicrosoftAzureAdministrator.ja-jpより、ラボで使用するファイル一式をダウンロードしておきます。



#### ダウンロードしたZipファイルを展開します。 Allfiles / Labs / 07 以下に、今回使用するファイルが含まれています。

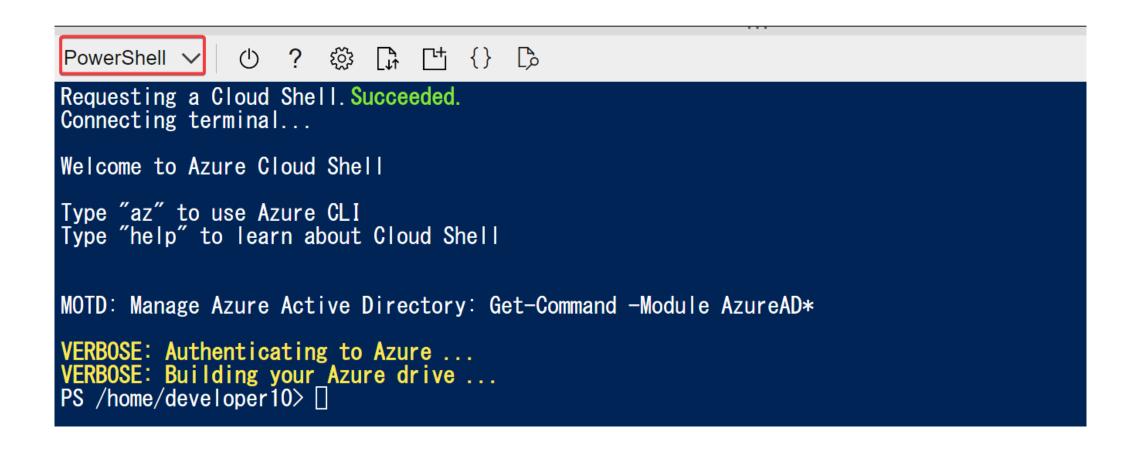


- 1. Azure portal にサインインします。
- 2. Azure portal の右上にあるアイコンをクリックして Azure Cloud Shell を開きます。

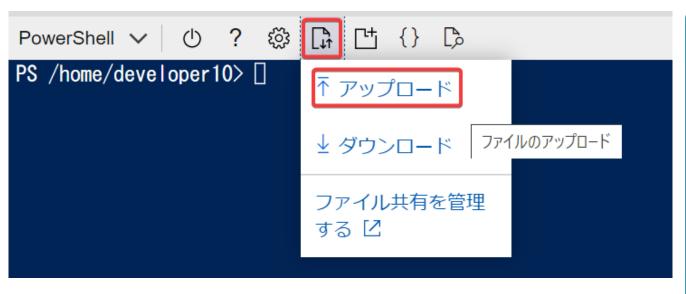


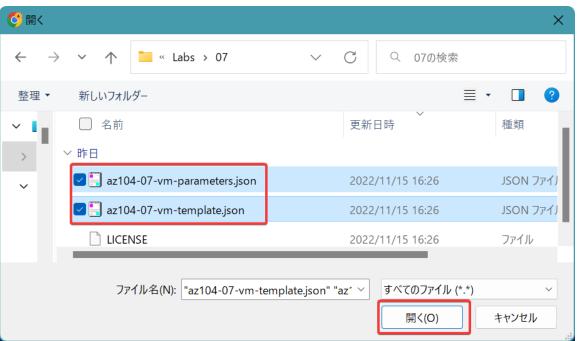
3. Bash または PowerShell の選択を求めるメッセージが表示されたら、 [PowerShell] を選択します。

**注**: Cloud Shell の初回起動時に "ストレージがマウントされていません" というメッセージが表示された場合は、このラボで使用しているサブスクリプションを選択し、[ストレージの作成] を選択します。

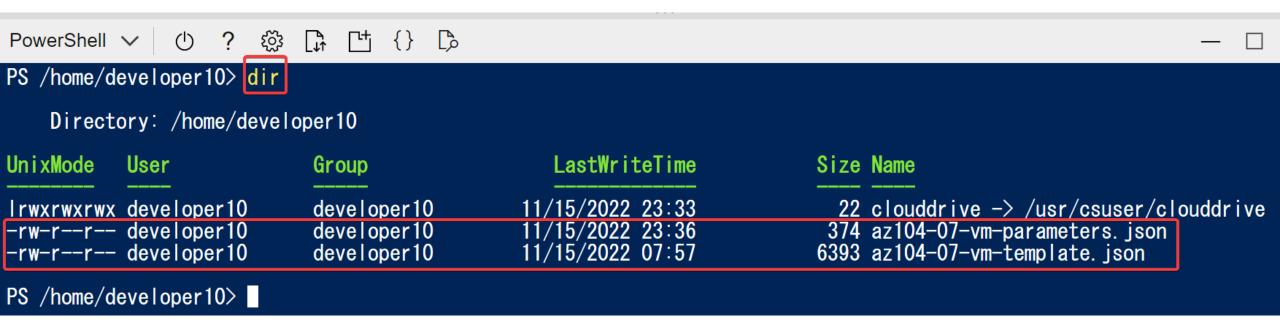


4. Cloud Shell ウィンドウのツールバーで、 [ファイルのアップロード/ダウンロード] アイコンをクリックし、ドロップダウン メニューで [アップロード] を選択して、ファイル \Allfiles\Labs\07\az104-07-vm-template.json および \Allfiles\Labs\07\az104-07-vm-parameters.json を Cloud Shell ホーム ディレクトリにアップロードします。





#### ※ dir コマンドで、アップロードされたファイルを確認できます



5. アップロードしたばかりの**パラメーター** ファイルを編集し、パスワードを変更します。 シェルでのファイルの編集に関してヘルプが必要な場合は、インストラクターに相談してください。 ベスト プラクティスとして、パスワードなどのシークレットは、キー コンテナーに安全に保存する必要があります。

```
PowerShell ✓ │ ① ? ﴿ ☐ {} ☐
                                                 az104-07-vm-paramete
                   "value": "Student"
   9
  10
               },
               "adminPassword": {
  11
                   "value": "Pa55w.rd1234
  12
  13
  14
  15
PS /home/developer10> code az104-07-vm-parameters.json
PS /home/developer10> |
```

- ※ code コマンドで、エディタでパラメータファイルを開きます
- ※ パスワードを変更します(12文字以上、大文字・小文字・数字・記号を使用)
- ※ Ctrl + Sで保存、Ctrl + Q でエディタを終了します

# VM を作成する際の<mark>パスワード</mark>の要件は何ですか。

使うツールによって、<mark>パスワード</mark>の長さの要件が異なります。

- ポータル 12 から 123 文字の間
- PowerShell 8 から 123 文字の間
- CLI 12 から 123 文字の間
- 小文字を含む
- 大文字を含む
- 数字を含む
- 特殊文字を含む ([\W\_] に一致する正規表現)

次の<mark>パスワード</mark>を指定することはできません。

abc@123	iloveyou!	P@\$\$w0rd	P@ssw0rd	P@ssword123
Pa\$\$word	pass@word1	Password!	Password1	Password22
4				<b>)</b>

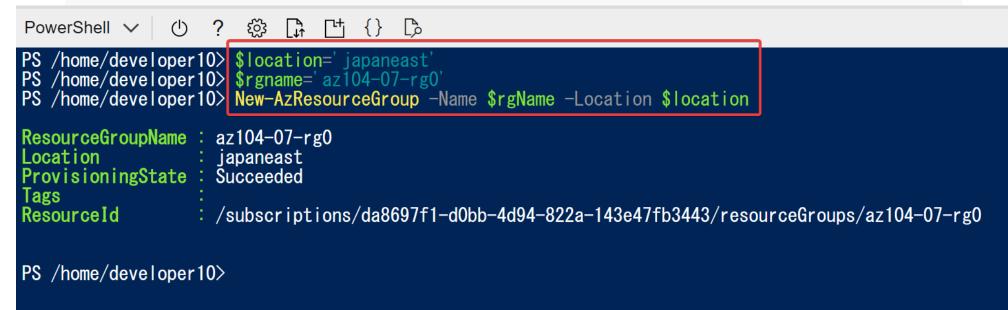
<mark>パスワード</mark>の作成に関する追加情報と制限については、こちらの<mark>パスワード</mark> ガイダンスのドキュメントをご覧ください。 6. [Cloud Shell] ウィンドウから次のコマンドを実行して、仮想マシンをホストするリソース グループを作成します ('[Azure\_region]' プレースホルダーを Azure 仮想マシンをデプロイする Azure リージョンの名前に置き換えます)。

**注**:Azure リージョンの名前を一覧表示するには、 (Get-AzLocation).Location を実行します。 **メモ**: 以下の各コマンドを個別に入力してください。

```
$location = '[Azure_region]'

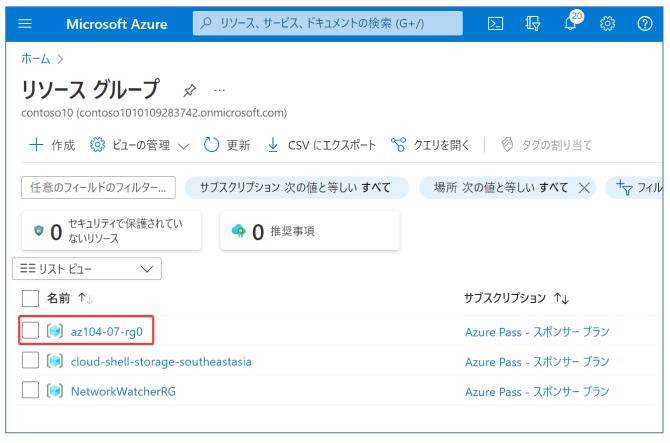
$rgName = 'az104-07-rg0'

New-AzResourceGroup -Name $rgName -Location $location
```



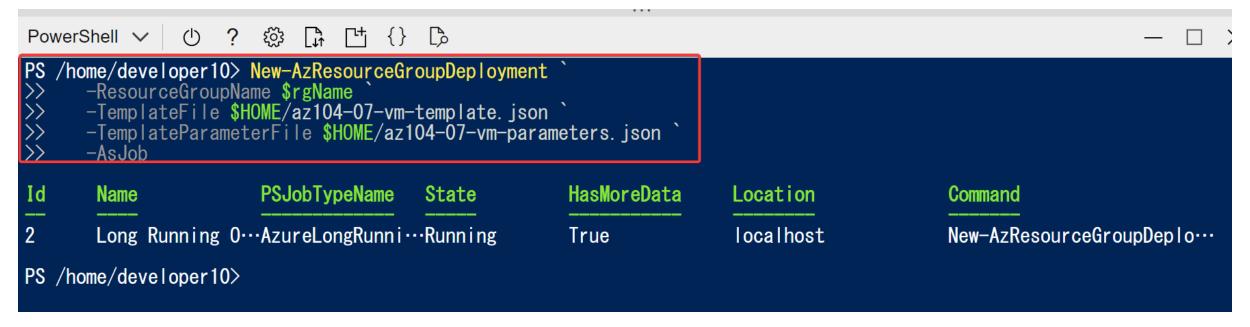
- ※ Azure portalで、作成したリソースグループを確認します。
- ※ 一般的に、コマンド操作結果がAzure portalに反映されるまで、30秒ほどかかります。





7. [Cloud Shell] ペインから次のコマンドを実行し、アップロードされたテンプレートとパラメーター ファイルを使用して、仮想マシンをデプロイします。

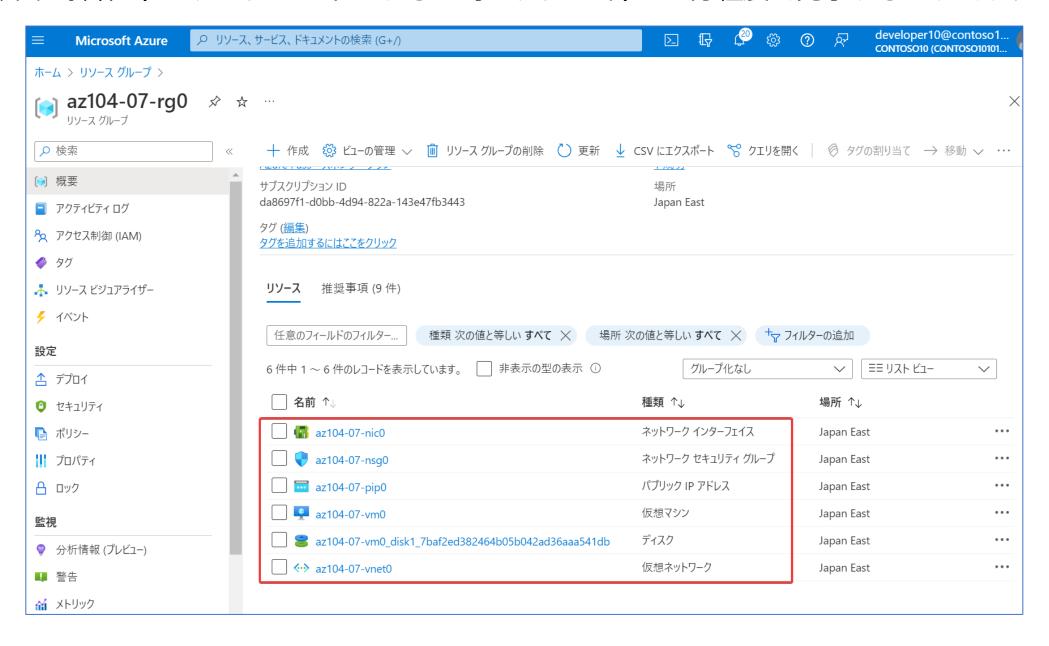
```
New-AzResourceGroupDeployment
  -ResourceGroupName $rgName
  -TemplateFile $HOME/az104-07-vm-template.json
  -TemplateParameterFile $HOME/az104-07-vm-parameters.json
  -AsJob
```



※「>>」記号は、コマンド貼り付け時に自動的に追加(表示)されます。 これはコマンドが前の行から継続していることを表します。 ※ デプロイされたリソース(VMその他)を確認するため、リソースグループをクリック。



※ デプロイするリソースの種類によっては作成に数分~数十分かかる場合もありますが、 今回の操作(ARMテンプレートによるVM等のデプロイ)は1分程度で完了するはずです。



### 考えられるトラブル原因と対策

- テンプレートファイルとパラメータファイルがCloud Shellに正しくアップ ロードされていない
  - ファイルがアップロードされていることを dir コマンドで確認します
- パラメータファイル内のパスワードが要件を満たしていない
  - ・大文字・小文字・数字・記号が混じった12文字以上のパスワードを指定します。
  - Azure portalのVM作成画面を利用して、入力したパスワードが要件を満たしているかどうかを確認できます
- 作成したリソースがAzure portalで確認できない
  - リソースの作成に通常よりも時間がかかっている可能性があります。
    - しばらく待ちます。画面内の「更新」ボタンを押します。
  - 画面への反映が通常よりも時間がかかっている可能性があります。
    - しばらく待ちます。画面内の「更新」ボタンを押します。
- 5分以上待ってもリソースが作成されない
  - 何らかの理由で、コマンドの実行が失敗している可能性があります。
  - リソースグループをいったん削除して、再度手順をやり直します。